

令和5年3月16日

倉吉市長 広田 一恭 様

倉吉市下水道事業運営審議会  
会 長 生田 均

### 下水道事業の運営について（答申）

令和5年2月9日付倉水業第505号で諮問のあったこのことについて、慎重に審議した結果、結論を得たので次のとおり答申します。

なお、当審議会は、市長がこの答申の趣旨に従って具体的措置を講ずることを要望します。

#### 記

### 1 下水道使用料（令和5年度～令和8年度）について

令和5年度から令和8年度までの4年間の下水道使用料については、現行使用料のまま据え置くことが適当である。

（使用料据え置き理由）

倉吉市の現状としては、一般会計からの繰入金による補填が欠かせない厳しい財政状況である。しかし、算定期間内（令和5年度から令和8年度まで）の財政収支見込みによれば、年度によりばらつきがあるものの4年間を総合的に見ると、現行の使用料水準で運営した場合でも、経営の継続は可能と判断される。また、汚水処理経費の回収が、令和2年度に企業会計へ移行してからは、改善傾向にあり、算定期間中も安定的に推移し、一般会計の負担削減が図られている点から、据え置きが適当としたものである。

### 2 「下水道事業経営戦略」の見直しについて

人口減少に伴う使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う更新費用の増大により、経営環境は厳しさを増しているが、下水道事業は、安全・安心な市民生活や企業活動に必要不可欠なライフラインであり、事業を将来にわたって安定的に継続していかなければならない。

「下水道事業経営戦略」は、中期にわたる経営の基本計画であり、この計画の取り組みを通じて持続的な経営に向けた経営基盤の強化を図ることが求められる。

今回の見直しは、令和5年度から令和14年度までの10年間を見据えたものであり、財源の見通しや今後の地域のあり方をふまえ、ストックマネジメント計画等とあわせて、計画期間内

に行うべき事業の優先順位付けを行うと共に、投資年度が偏らないよう平準化を行うなど、健全で効率的な経営を行うための、実行可能な戦略として活用できる内容である。

### 3 附帯意見

#### (1) 使用料算定期間

今回の使用料算定期間は、前回審議会と同様、公共下水道事業経営の安定性を保つ観点から令和5年度から令和8年度までの4年間とする。

今後も、今回の審議会から4年後を目途に料金の見直しを行い、以降も同様に、特別な理由がないかぎり4年毎に見直しを実施すること。

#### (2) 経営健全化の取り組み

将来を見据えた事業運営に取り組み、より一層の経費削減に努めること。

##### (ア) 徴収率の向上

下水道事業は下水道使用料をもとに経営しているため、使用料の未納は、不公平感を生むばかりでなく、事業そのものの経営に支障をきたすことになるので、徴収率の維持・向上に努めること。

##### (イ) 維持管理費の低減

維持管理費については、施設、設備の老朽化により多額の経費がかかることが予測されているが、優先順位を考え、計画的に事業の運営を行っていくこと。加えて、引き続き、県に対して天神川流域下水道維持管理負担金の単価の低減を要望していくこと。

##### (ウ) 広域化・共同化計画の推進

鳥取県が策定する広域化・共同化計画に基づき、中部1市4町及び広域連合における協議を進め、処理場の縮小など効率的な汚水処理の運営を図り、維持管理費の低減に努めること。

【資料1】

倉吉市下水道事業運営審議会の経過について

番号	開催日時・場所	会議内容
第1回	令和5年2月9日（木） 午前10時～正午 倉吉市役所 大会議室	(1) 下水道使用料（令和5年度～令和8年度） について (2) 「下水道事業経営戦略」の見直しについ て
第2回	令和5年3月2日（木） 午前10時～正午 倉吉市役所 第2会議室	(1) 前回審議会での質問等について (2) 答申について

【資料2】

倉吉市下水道事業運営審議会委員名簿

(順不同：敬称略)

	氏 名	委 嘱 事 由	団 体 名 ( 役 職 名 )
会 長	生 田 均	各種団体の代表者	倉吉市自治公民館連合会 副会長
副 会 長	福 田 京 子	各種団体の代表者	地域づくりネットワーク 代表
委 員	蔵 増 保 則	各種団体の代表者	鳥取中央農業協同組合 代表理事常務
委 員	大 江 稚 乃	各種団体の代表者	倉吉商工会議所 議員
委 員	筏 津 充 代	各種団体の代表者	倉吉男女共同参画推進会議 会員
委 員	山 口 と も 子	各種団体の代表者	高齢社会をよくする会くらよし (会長)
委 員	植 木 洋	学 経 験 識 者	学校法人藤田学院 鳥取短期大学 生活学科情報・経営専攻准教授
委 員	戸 莉 丈 仁	学 経 験 識 者	公立大学法人公立鳥取環境大学 環境学部環境学科准教授
委 員	中 村 菊 枝	公 募	—

9名

※役職名は委嘱日（令和5年1月26日）時点。